

第52回千葉県学校薬剤師会総会について

千葉県学校薬剤師会
会長 畑中範子

令和6年6月2日に第52回千葉県学校薬剤師会総会を開催しました。
下記の議案について承認されましたことを報告します。

第52回千葉県学校薬剤師会総会 議案

第1号議案 令和5年度事業報告

第2号議案 令和5年度収支計算書承認の件
監査報告

第3号議案 令和6年度事業計画案承認の件

第4号議案 令和6年度収支予算案承認の件

令和6年度 千葉県学校薬剤師研修会報告

千葉県学校薬剤師会
常任委員 眞板弘彰

千葉県学校薬剤師会主催の研修会が令和6年6月2日(日) 14:00～15:30 ホテルポートプラザちばにて開催され、105名の学校薬剤師が参加しました。千葉県薬剤師会館が工事の影響で使用できないため、急遽会場変更となったが間違える方もおらず滞りなく進行しました。

講演は(一社)日本くすり教育研究所 代表理事、薬学博士 加藤哲太氏より、「最近の薬物乱用問題(大麻・医薬品のオーバードーズ)現状から指導について考える」と題してご講演いただきました。加藤氏ご自身も学校薬剤師としてご活躍されており、ご自身の経験も織り交ぜながら講演は進みました。

はじめに、講演は大麻・医薬品のオーバードーズ問題に焦点を絞っており、参加した各々が得た知識を子供の教育に役立てて欲しいという加藤氏の思いが伝えられました。

続いて、現在の薬物乱用に関する共通概念となっている情報および現状について解説されました。直近の話題として、令和5年8月に「第六次薬物乱用防止五か年戦略」が策定されました。学校薬剤師が担う役割として、薬物乱用を未然防止するために学校教諭による薬物乱用防止教育と専門知識人による薬物乱用防止教室の相乗効果が求められていることが紹介されました。

大麻に関連する情報として、大麻取締法の改正や薬物事犯検挙人数の解説、海外での大麻合法化後の情報が紹介されました。インターネット上では「海外では大麻の使用が合法化されている」と都合の良い部分だけ切り取られることがあります。しかし、海外での大麻合法化の実情としては、成人には嗜好目的で解禁されているものの、未成年の使用に対してはより厳しくなっています。大麻合法化の社会

的影響として、アメリカ コロラド州では大麻使用者の交通事故死亡者数が約 2 倍に増加しており、大麻使用による注意力低下・運動機能低下が原因として考えられています。

その他の薬物乱用問題として、市販薬オーバードーズの事例、向精神薬、電子たばこ、エナジードリンクなどの問題について多岐にわたり触れられました。オーバードーズの問題点としては、医薬品の正しい使用方法について教育がされていないことも問題であり、薬剤師がサポートしていかなければいけません。

薬物乱用防止教室を行うにあたり、講義の組み立て方についてアドバイスがありました。薬物乱用には法律上のルール違反（違法薬物の使用・未成年の喫煙）と目的や使用方法のルール違反（処方薬や市販薬の用途、用法、用量を守らない）が考えられますが、医薬品と薬物の違いも理解できていない状況では短い授業の中では伝えきることが困難です。限られた時間の中で必要な情報を伝えるため、薬物の危険性（個人・社会への影響）、自己肯定感（脳の素晴らしさ）、対応力（断る能力）、主にこれら 3 つの項目を伝えることを目標として講義を組み立てています。危険性や自己肯定感を理解するために脳の機能と脳への影響、対応力を向上するために薬物使用のルールを説明することが例として挙げられました。

最後に、薬物乱用防止教室には正解はなく、薬物問題を取り巻く状況は目まぐるしく変わっていくため、日頃より情報収集を行い子供たちへ還元していくことが大切であるとまとめられました。

薬物乱用に関する最新の話題や講義を組み立てるポイントが解説され、大変参考になる研修会でした。今後の薬物乱用教室に役立てたいです。

薬物乱用防止教室を開催するための情報源として以下の HP が挙げられた。

- ・日本くすり教育研究所
<https://jide.jp/>
- ・日本学校保健会
<https://www.hokenkai.or.jp/>
- ・麻薬・覚せい剤乱用防止センター
<https://www.dapc.or.jp/>
- ・厚生労働省 薬物乱用防止啓発訪問事業
<https://www.d-info.net/>